

双葉の園ひがしやま保育園 園だより

令和7年 9月 第66号



この夏も、卒園した小学生がボランティアとして、たくさん来園してくれました！
10年前に双葉の園を卒園した高校生も、お手伝いに来てくれていました。
少し大きくなった自分と、小さかったあの頃、どんな風に思いながら遊んでいるかしら。
一緒に過ごす光景を眩しく感じながら、卒園後も繋がるご縁を、大きな喜び、と噛みしめていました。
今後も地域に開かれた園として、つながりの拠点でいたい！思いを新たに、素敵な夏の光景でした。

園長代理 佐藤 援

双葉の園は、今月で94周年を迎えます。

今月のことは、理事長よりお預かりしていますので、ご紹介いたします。

『自由と成長』

「自由」という言葉は美しい言葉です。
しかし実際に子どもの育ちと自由を考えると中々難しい問題に直面します。
自由とは何でしょうか？
何からの自由でしょうか？
自由に遊ぶというのはどういうことなのでしょうか？
人は生まれながらにして自由な存在であるべきですが、
本当にこどもたちは生まれながらにして自由なのでしょうか？

生まれたばかりのこどもたちを考えてみてください。
まだ話もできませんし、言葉もしゃべれません。
この子たちは自由でしょうか？
いえいえ、この子たちは機嫌が良ければ笑い、お腹がすくと泣いて訴えることはできますが、
自由にどこにでも行けるわけではありません。
何をするにも人の助けが必要です。
やがて成長していく過程で、父母や兄弟、友だち、保育士との関わりを通して言葉を覚え、
危険やルールを学び、その力を土台にこどもたちは自由に動ける範囲を広げていきます。

つまり、子どもは生まれながらに完全に自由なのではなく、
関わりや経験を通して自分で選べる自由を少しずつ獲得していく存在です。

だからこそ私たちは、子どもたちが自分で選択出来る保育を目指しています。
選択の幅＝可能性が大きければ、子どもたちは自分で遊びを見つけ出し、
積極的に遊びを創り出すことも出来るようになります。
自由な選択が出来ると、自分で考え自分で決定することが出来るようになります。
双葉の園は、子どもの自由と選択の機会を大事にしています。
自由を求めて！

社会福祉法人 双葉の園
理事長 西 大記



アートコーナー

この秋、ホールにアトリエのような、
制作が自由に行えるスペースを常設したい、と考えています。
様々な素材や道具を常備することで、
こどもたちが様々な素材に触れたり、工夫して制作したり、
いろいろなことを試したり、じっくり調べたり、
こどもたちがそれぞれ興味のあることに向き合う、
そんな機会をより充実させたい、と思っています。
準備が整うまでは、1～2か月かかる見込みです。

準備が整い次第、空き箱やカップなど、
リサイクル素材の収集をお願いしたいと思っています。
ご理解とご協力をお願いします。

コドモンの連絡について

非公開

9月の予定

- 10日(水) 創立記念日 94周年
5歳児ひかり組 制作教室
- 13日(土) 創立記念講演会 おおたとしまさ先生
- 17日(水) 4歳児ほし組 制作教室
- ※バルシューレの日 22日(月) 29日(月)

HAPPY BIRTHDAY!

非公開